

上尾市水道事業では、大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

近隣水道事業体技術研究会を実施しました

令和5年11月2日(木) 上尾市上下水道部敷地内におきまして、「令和5年度近隣水道事業体技術研究会」が開催されました。

本研究会は、埼玉県水道広域化実施検討部会の第9ブロックに位置づけられている5市町の4事業体「鴻巣市上下水道部」、「桶川北本水道企業団」、「伊奈町上下水道課」、「上尾市上下水道部」によって形成されています。



講義の様子



近隣水道事業体実務研究会
会長 鴻巣市経営業務課長より挨拶



上尾市上下水道部長より挨拶

3事業体から10名の参加があり、上尾市からは実動班員を中心に参加しました。

「応急漏水対応」をテーマに、

「木栓による応急漏水修繕」、「給水車による応急給水」、「意見交換」を行いました。

木栓による応急漏水修繕

「木栓による応急給水訓練」では打ち込む木栓を切り出しナイフ1本で削り出し、製作した木栓を、漏水している水道管へ打ち込みました。



給水車による応急給水

「給水車による応急給水」では断水時における受水槽への応急給水を想定し、給水車による飲料水の圧送を行いました。各事業体の給水車のタンクに飲料水を入れ、受水槽と見立てたタンク内に圧送する訓練を行いました。



1. 消火栓から給水車へ注水



2. 水質確認



3. 給水車出勤



4. 給水車からタンクへ圧送



「意見交換会」では主に漏水対応、漏水修繕に関して意見交換を行いました。
各事業体の違いや、お互い抱えている悩み等について共有することができました。



今後も各水道事業体間で連携をとり、
有事の際に相互協力を図れる体制を構築していきます！

